

部局名	安全環境部	所属名	清掃センター	所属長名	笠川 博明	電 話	483-4521
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3233		事務事業名称	清掃センター業務管理事業					短縮コード	経常	3233	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和32年7月八千代町の直営事業での塵芥収集の開始に伴う。 ごみの収集運搬及び受入れ業務。 ごみ集積場承認，美化。有害，不燃ごみの収集運搬。事業系等一般廃棄物の受入れ。不法投棄物の処理及び管理棟及び収集車両の維持管理。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして					
細分化やりサイクル化等の処理方法の有効な活用が図られると同時に，ごみの減量化を図る。また，指定袋制度の導入等受益者負担も図る。						大項目（節）	03	環境・衛生					
						中 項 目	02	ごみ処理					
						小項目（施策）	02	環境に配慮した適正なごみ処理の推進					
						細 項 目	02	焼却施設等の整備					
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	不燃ごみ・有害ごみの収集及び受け入れ業務。						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 不燃ごみ・有害ごみの収集及び受け入れ業務並びにごみの分け方出し方の指導・助言。（どーんと祭りへの出展による市民への啓発）						
	※平成20年度に計画していること： 不燃ごみ・有害ごみの収集及び受け入れ業務並びにごみの分け方出し方の指導・助言。（どーんと祭りへの出展による市民への啓発）						
意図 （何を狙っているのか）	ごみ集積場所に出されたごみの収集と集積場所利用者による適切な集積場所の美化管理。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	18年度	19年度		20年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	不燃ごみ搬出世帯数	世帯	75,674	73,000	77,303	77,800
	指標2	有害ごみ搬出世帯数	世帯	75,674	73,000	77,303	77,800
	指標3						
活動指標	指標1	不燃ごみ処理量	Kg	943,410	840,000	942,470	840,000
	指標2	有害ごみ処理量	Kg	76,320	74,000	78,120	74,000
	指標3						
成果指標	指標1	不燃ごみの回収率	%	100	100	100	100
	指標2	有害ごみの回収率	%	100	100	100	100
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード		3233	事務事業名称	清掃センター業務管理事業			所属名	清掃センター
			単位	１８年度	１９年度		２０年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0			
		県	千円	0	0			
		地方債	千円	0	0			
		一般財源	千円	48,427	46,248	42,703	47,963	
		その他	千円	0	0			
	主な事業費の内訳			需用費 消耗品費 3,474千円 修繕料 3,137千円 委託料 21,870千円	需用費 消耗品費 3,524千円 修繕料 2,350千円 委託料 31,479千円	需用費 消耗品費 3,521千円 修繕料 2,663千円 委託料 28,155千円	需用費 消耗品費 3,100千円 修繕料 2,851千円 委託料 31,823千円	
	人件費(B)			千円	242,451.1	239,516.3	229,727.2	229,727.2
トータルコスト(A)+(B)			千円		290,878.1	285,764.3	272,430.2	277,690.2

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由							
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	環境に配慮した適正なごみ処理を推進するために、ごみ収集運搬及び受入業務，不法投棄物の処理など，清掃センター業務管理事業を実施しており，結びついている。							
			☐ 結び付くが見直しの余地がある								
			☐ 結びつきが弱い・ない								
			☐ 評価対象外事項								
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	住民への啓発等を通じた意識改革を今後も事業としていく。							
			☒ 達成していない								
			☐ 評価対象外事項								
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	ごみの処理については市が行うべき事業であるため民営化には元々なじまない。							
			☒ 可能性はない								
			☐ 評価対象外事項								
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	当初と目的が変わっていない。								
		☐ 見直す必要がある									
		☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	平成１７年７月に粗大ごみ，収集・運搬業務委託を行い効率性の向上を図った。また，不燃・有害ごみの収集・運搬業務を委託に向け検討する。							
			☐ 効率性向上の可能性はある								
			☐ 両方可能性がある								
			☒ 可能性がない								
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等								
			☐ 臨時的任用職員等の活用								
			☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し								
			☐ 受益者負担の見直し								
			☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1			実施主体 (所管部署)			
			☐ 上記以外の方法					2			実施主体 (所管部署)
			⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
					☐ ない						

コード	3233	事務事業名称	清掃センター業務管理事業				所属名	清掃センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				☐ 改革・改善して継続		平成17年7月に粗大ごみ，収集・運搬業務委託。 今後は，不燃・有害ごみの収集・運搬業務委託を委託に向け検討する。	
					☐ 手法プロセスの改革・改善			
					☐ 事業規模の拡大・縮小			
					☐ 統合・役割見直し			
				☐ その他				
				☐ 廃止				
				☐ 休止				
			☒ 現状のまま継続					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			平成17年7月に粗大ごみ、収集・運搬業務委託。 今後は，不燃・有害ごみの収集・運搬業務委託を委託に向け検討する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☒	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
ごみを出す日・時間・曜日や可燃ごみ，不燃ごみ等の分別を守らないルール違反者のケースが見受けられる。	

所属長コメント	ごみ収集運搬業務を職員の退職状況や関係各部署との調整を図りながら，順次委託化の推進を進めて行きたい。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	現状のまま継続とするが，不燃・有害ごみの収集運搬業務の委託に向けての検討は実施すべき。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	